

2022年9月21日

大学コンソーシアムひょうご神戸 2022年度第2回キャリア委員会 議事要項

メール回付：2022年9月13日

回答期日：2022年9月21日

委員校：関西学院大学（委員長校）

関西福祉大学（副委員長校）、甲南女子大学（副委員長校）、神戸国際大学（副委員長校）、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、甲南大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、聖和短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、流通科学大学

○審議事項

1. 令和3年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ3プラットフォーム型）への申請に伴う達成状況評価シート作成について（資料1）

●審議結果

メール審議した結果、これを承認した。

○懇談事項

1. （賛助会員企業との連携強化による）ひょうごの元気づくり  
～兵庫の「企業とヒト」をつなぐ～（資料2）

●懇談結果

- ・県内企業・大学との連携強化に向けて、これまでの取組を更に進化させたものや新たな試みについても企業・大学連携強化に向かい、コンソ参画の価値向上に繋がるものと存じます。
- ・抽象的になりますが、事業実施自体が目的化することを避け、かつ、目的と手段（各事業の実施（による成果））の間に因果関係が保持できているかを適切に判断することが肝要かと思えます。
- ・本学では専門職課程が主で一般就職者は毎年5名～10名程度です。進路変更の時期、一般就職活動に不慣れさ等から苦戦しております。賛助会員企業の中でも大手、人気企業は

別として人材確保に苦勞されている企業等に学生を紹介出来ればと思っております。

- ・施策1～6について、連携を深め、学生の地元企業理解を進めるために効果的であると思います。学生が実際に地元企業で働いている（人事以外の）社員から、仕事の実情について聞くことができるような機会があってもよいかと思いました。また、課題解決プログラムは学生にとってもしっかり教育効果のあるものになるよう、目標やステップを組み立てる必要があるかと思えます。本学の学生参加については、やはりある程度ネームバリューのある企業が含まれていないと、苦戦する可能性があると感じます。
- ・賛助会員企業の多くは、本学で開催する企業説明会等に参加いただいております、学生と交流の機会があるため、今回の取組みでどれほど効果があるか疑問。賛助会員企業限定ではないものの、対象は賛助会員企業がメインとなると思われる。賛助会員企業への就職を支援することが、コンソの設立趣旨に合うかどうか議論が必要かと考える。
- ・実施の運びとなりましたら、学生向けの施策については積極的に学内での広報を行います。
- ・特にございません。内容について賛同いたします。

以上